

広報ふたば



【表紙写真】 願いを込めて。。。

（いわき・まごころ双葉会、
町立幼稚園・小学校 七夕飾り）



町民の皆さまへ

特定復興再生拠点区域の避難指示解除について

双葉町長 伊澤 史朗

気温の高い日が続いていますが、町民の皆さまにおかれましてはご壮健にてお過ごしのこととお察し申し上げます。

7月8日、安倍晋三元総理大臣が銃弾に倒れるという突然の衝撃的なニュースが飛び込んできました。何とか回復をとの願ひもむなしく、ご逝去されましたことは誠に残念でなりません。安倍元総理が総理大臣在任時には、令和2年3月の常磐自動車道常磐双葉インターチェンジの開通式をはじめ、双葉町に複数回お出でいただくなど、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興にご尽力いただきました。心から感謝申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。

さて、特定復興再生拠点区域の避難指示解除につきましては、5月12日から6月4日にかけて、住民説明会を県内外11力所の会場で開催いたしました。町民の皆さまから多くのご質問、ご要望などいただきましたが、特定復興再生拠点区域の避難指示解除については、概ねご理解をいただいたものと考えております。さらに町民の代表であります町議会に、6月7日開催の町議会全員協議会の場でご説明をさせていただき、6月16日に了承を得られたところで

あります。

そして、7月14日に「特定復興再生拠点区域の避難指示を令和4年8月30日午前0時に解除する」ことを、国及び福島県と協議し、合意させていただきました。

震災から11年5カ月ぶりに町へ帰還できることとなり大変感慨深く、特定復興再生拠点区域の避難指示解除は双葉町の復興への大きな一歩となりますが、町内全域の避難指示解除を目指す町としては、一つのステップに過ぎません。引き続き全力を尽くしてまいります。

次のステップである特定復興再生拠点区域外の避難指示解除については、昨年8月に、今後の進め方について国から方針が示されました。「帰還意向のある住民の方々が帰還できるように取り組む」という国の考え方は、一歩前進であると受け止めていますが、具体的な取り組みについては、まだ不透明な状況です。

町としましては、本町が抱える帰還困難区域全域の避難指示解除、住民帰還が早期に実現し、ふるさと双葉町を一日でも早く取り戻すことができるよう、特定復興再生拠点区域外における除染等の取り組みの具体化を強く求めてまいります。

8月30日の特定復興再生拠点区域の避難指示解除に先駆け、8月27日にはJR双葉駅東側に役場新庁舎を開庁し、9月5日から業務を開始いたします。行政機能が町に戻るとともに、特定復興再生拠点区域、そして既に避難指示が解除されている区域での町民の皆さまの帰還環境整備をさらに進めてまいります。

町民の皆さまにおかれましては、今回の判断を何卒ご理解いただき、双葉町の復興に向け、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

7月に入ってから、また新型コロナウイルスの感染者数が全国的に拡大傾向にあることから引き続き感染防止対策の徹底をお願いするとともに、気温が高く、熱中症など体調を崩しやすい時期ですので、日ごろの体調管理に十分気をつけて、お過ごしいただきますようお願いいたします。



◆◆◆ 石井義幸さん(三字)が瑞宝単光章を受章 ◆◆◆

石井義幸さんは、双葉町消防団員として約40年間、住民の生命や生活を守り、また、東日本大震災及び原子力災害では、住民の避難誘導等に尽力されました。さらには、8年3カ月の間双葉町消防団長として、全国に広域避難した消防団員をその指導力と統率力でまとめられました。これらの活動が認められ、4月29日、瑞宝単光章を受章され、6月23日にいわき事務所にて伊澤史朗町長から伝達されました。



学校法人荒井学園 新川高等学校が町内視察

6月25日、26日、富山県の学校法人荒井学園新川高等学校の荒井公浩理事長と濱元克吉校長が町内を訪問されました。

今回の訪問は、学校法人荒井学園新川高等学校が双葉地方を修学旅行先として検討していることから行われたもので、6月25日は産業交流センターと東日本大震災・原子力災害伝承館、6月26日にはJR双葉駅周辺、町立双葉南小学校、マリーナハウスふたばや中間貯蔵施設エリア内の民家等地域により状況が異なる町の現状を視察されました。



吉川ゆうみ経済産業大臣 政務官が町内視察

6月24日、経済産業省の吉川ゆうみ大臣政務官が双葉町内を訪問されました。吉川大臣政務官は東日本大震災・原子力災害伝承館や特定復興再生拠点区域外である鴻草地区等を視察された後、伊澤史朗町長から東京電力福島第一原子力発電所事故からの町の復興状況等について説明しました。



富山県黒部市議会が行政視察

6月29日、30日、富山県黒部市議会総務文教委員会が行政視察のため、町立学校仮設校舎、いわき事務所及び町内を訪問されました。

6月29日は町立学校仮設校舎を訪問され、仮設校舎見学及び授業参観の後、館下明夫教育長、大沼俊之双葉中学校長らと意見交換の場が設けられました。その後いわき事務所を訪れ、伊澤史朗町長から、双葉町復興まちづくり計画(第三次)や町の復興状況の概要について説明しました。柴沢太郎黒部市議会総務文教委員長は「黒部市から双葉町へ派遣された職員から双葉町の状況を聞き、現地で直接確認したいという思いから訪問した。しっかり勉強し黒部市に持ち帰りたい」と述べました。

30日には、前日の伊澤町長の説明を踏まえ、JR双葉駅周辺や役場本庁舎、東日本大震災・原子力災害伝承館を視察されました。



町内での植栽活動

6月21日と7月5日、町内で植栽活動が行われました。

6月21日は、NPO法人ハッピーロードネットによる活動で国道6号沿いの花壇にマリーゴールドの苗約5,000株が植えられました。県立相馬農業高等学校の生徒や前田建設工業株式会社、株式会社田中等の企業関係者、町職員など約60人が参加しました。

7月5日には、勝山工業株式会社の社員約

15人が参加し、双葉厚生病院入り口交差点付近の花壇にペゴニアとブルーサルビアの苗1,000株が植えられました。植栽活動は、人の背丈ほどの高さまで伸びた雑草を刈り取る作業から始まり、その後サークル状に苗が植えられました。

両日ともに猛暑の中での活動でしたが、参加された皆さんは一株ずつ丁寧に植栽し、色鮮やかでかわいらしい花が町内を彩りました。



▲ NPO法人ハッピーロードネットによる活動



▲ 勝山工業株式会社による活動

農地保全管理組合の取り組み

6月30日、両竹地区農地保全管理組合の皆さんによる農地の保全管理活動が行われました。今年度に入り初めて組合員の皆さんが集まり、無人ヘリコプターにより上空から除草剤を散布しました。

除染した農地が再び荒廃しないように保全管理しながら、営農再開に向けた環境づくりに取り組んでいます。



双葉町人権擁護委員に 橘内悦子さん(長塚一)が再任されました

任期 令和4年7月1日から令和7年6月30日までです。



いわき・まごころ双葉会 セタ飾り展示

7月1日、いわき・まごころ双葉会により、JR双葉駅東口に「ふるさと双葉のさらなる復興の前進・交流・元気」を願い、セタ飾りの展示が行われました。

セタ飾りには双葉海水浴場の写真や町のキャラクター「フタバくん」の絵があしらわれ、1本約4メートルの長さがある色鮮やかなセタ飾りが6本展示されました。海からの風になびくセタ飾りの様子は、猛暑の中活動した会員の皆さんやJR双葉駅を利用する皆さんへひとときの涼を届けていました。



「災害復興等応援社員募金」目録贈呈式

7月5日、いわき事務所において、株式会社NTTドコモ東北支社による「災害復興等応援社員募金」の目録贈呈式が行われました。

この募金は株式会社NTTドコモと有志の社員によるもので、今回で3回目の寄付となります。

この寄付により、町の伝統行事である「ダルマ市」のPRキャラクター「双葉ダルマさん」と、町が配付する

タブレット端末内「ふたばアプリ」のキャラクター「せんだんちゃん」のパペットが、町の復興支援員事業受託者である一般社団法人ONE福島へ寄付されました。

伊澤史朗町長は、これまでの継続的なご支援と募金に賛同いただいた社員の皆さまへ感謝の意を表し、また「今回の寄付は交流会や情報発信に活用する予定としており、交流の活性化や町外への発信力の強化にもつながるものと期待しています」とあいさつしました。株式会社ドコモCS東北高田博樹福島支店長は「この寄付が、町内外への情報や魅力の発信と町民の皆さま同士の交流活性化やにぎわいの創出につながり、復興がより確かなものになることを願っています」とあいさつされました。

寄付いただいたパペットは、交流会や動画配信等情報発信において活用する予定です。



全国一斉「子どもの人権110番」強化週間の実施について

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、8月26日から9月1日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日（土・日・祝日を除く）においても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますので、ご利用ください。

期 間 令和4年8月26日（金）から
同年9月1日（木）までの7日間

時 間 午前8時30分から午後7時まで
ただし、8月27日（土）・28日（日）は
午前10時から午後5時まで

電話番号 0120-007-110（フリーダイヤル）

【問い合わせ先】 福島地方法務局人権擁護課 ☎ 024-534-1994

双葉町新庁舎が開庁します

令和4年9月5日（月）、双葉町の新庁舎での業務がスタートします。

これまでのいわき事務所はいわき支所として窓口機能を残し、各種証明の交付や相談業務等を行います。



所在地

〒979-1495

福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4

☎ 0240-33-2111（代表）

FAX 0240-33-2115

新庁舎の概要

建築面積：1,928.47㎡

延床面積：3,145.97㎡

構造：軽量鉄骨造2階

開庁時間

午前8時30分から午後5時15分まで

※土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く



▲ エンガワモール2

■フロアガイド

1 階



2 階



■ アクセス

- JR双葉駅から徒歩で約3分
- 常磐自動車道常磐双葉ICから車で約10分



■ 新庁舎の駐車場

駐車場に ご注意ください

新庁舎の建設工事は完了しましたが、今後、駐車場整備工事（舗装等）を行うため、来庁者駐車場の一部が使用できなくなる期間が発生します。

来庁者駐車場の混雑時には臨時駐車場をご利用ください。

ご協力をお願いします。



いわき支所の業務

令和4年9月5日、町の本庁舎機能が双葉町の新庁舎に移転するのに伴い、いわき事務所は「いわき支所」として窓口機能を残し、各種証明の交付や相談業務等を行います。

設置窓口

- 戸籍・税務：証明書発行（戸籍・住民基本台帳・印鑑登録証明・納税証明等）、印鑑登録等
- 福祉・国保年金：福祉・年金に係る相談、保険証の発行等
- 健康づくり：健康に係る相談、家庭訪問等
- 生活支援：避難者生活支援に係る相談

また、郡山支所、埼玉支所、南相馬連絡所、つくば連絡所の業務内容に変更はありません。

【問い合わせ先】 総務課 ☎ 0246-84-5201

教育委員会移転のお知らせ

令和4年9月5日、双葉町教育委員会教育総務課がいわき支所に移転し、幼稚園、小中学校の就学等に関する窓口業務を行います。

また、双葉町教育委員会生涯学習課は双葉町の新庁舎に移転し、業務を開始します。

双葉町役場コミュニティーセンター連絡所の閉鎖について

令和4年9月5日（月）からの双葉町新庁舎での業務開始により、双葉町役場コミュニティーセンター連絡所は、9月2日（金）で閉鎖となります。

【問い合わせ先】 総務課 ☎ 0246-84-5201

双葉町新庁舎開庁式のお知らせ

令和3年より建設工事を進めておりました双葉町新庁舎が完成しました。完成を記念し開庁式を行います。

- 開庁式**
- 日時：令和4年8月27日（土） 午前11時00分
 - 場所：双葉町新庁舎（双葉町大字長塚字町西73番地4）

《注意》 本来ならば多くの町民の皆さんにご出席いただき盛大にお祝いしたいところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出席者を限定し、開催させていただきます。ご理解をお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 ☎ 0246-84-5201

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

今年の東北南部の梅雨明けは、6月中に宣言が出され観測始まって以来の記録とのことで短い梅雨でした。そして、今度は連日の猛暑日が続き、40度越えの地点も毎日のようにニュースの話題となっております。

双葉町の園児、児童、生徒たちの皆さん、夏休みに入って10日あまりが過ぎました。計画的な家庭生活が送れているでしょうか。行動計画に従って、一日一日を有意義に過ごすため努力することが大きな力となります。本来ならば、「長期休業だからできる体験活動や貴重な経験を積極的に！」というメッセージを送るのですが、昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症防止対策のことしか、皆さんにお話できないのが残念です。新型コロナウイルス感染症（オミクロン株派生型）が主流で、感染者数も増加傾向で推移しており、予断を許さない状況です。猛暑日が続き、屋内ではクーラーをつけて、閉め切ってしまうケースが多くなります。水分をとりながら熱中症対策をしっかりすることと、人が多い部屋では、こまめに換気をすることが、感染リスクの低減化になると専門家は話しております。ぜひ、保護者の皆さまもこの夏休みを利用して、お子さんと感染症対策、熱中症対策について話し合う機会を持ち、予防に向けた意識を高めていただきたいと思います。また、大雨洪水被害、土砂災害など、天候による自然災害についても、住まわれている「地域ハザードマップ」を再確認しながら防災意識の高まりをご家庭の中で築き上げ、「命を守る行動」を一人一人が理解し、取り組めるよう話し合っていたいただきたいと思います。

● 黒部市議会 総務文教委員会による行政視察

去る6月29日に、黒部市議会総務文教委員会の議員6名の皆さまによる、双葉町立小中学校の視察が行われました。黒部市とは、東日本大震災以降、応援の職員派遣を継続していただき、物心両面にわたりご支援を賜りました。限られた時間ではありましたが、小・中学生の授業参観と施設設備の視察、そして意見交換を行いました。

◇ 視察における説明項目 ◇

- 1 町立学校における被災からの変遷及び概要について
- 2 避難先の児童・生徒への支援体制について
- 3 町立学校におけるICT教育について

上記の3点については、教育長より概要を説明し、具体的な部分では朝田教育総務課長が説明しました。質疑応答では、議員の方々から「いじめ、不登校の現状」「コロナ禍における学びの保障」「教職員の確保」などの話題が出ました。続いて、いわき事務所に移動し伊澤町長との意見交換、そして、2日目は、双葉町内視察が行われました。タイトな日程でしたが、現状を把握いただくのには有意義な行政視察だったと思います。議員の皆さま、遠路お越しいただき、誠にありがとうございました。



双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

未就園児、町立ふたば幼稚園園児の交流

6月9日、町民交流施設ふたば一くにおいて、「ママサロン in なこそ」が開催されました。

「ママサロン in なこそ」は未就園児とその保護者を対象としたサロンで、今回初めて町立ふたば幼稚園の園児が参加し、交流の時間が設けられました。

「親子体操」をテーマに講師の先生をお呼びし、未就園児はお母さんと、園児は先生とのふれあい遊びの後、道具を使った体操遊びで年齢に合わせた動きや活動を楽しんでいました。



双葉南・北小学校、ふたば幼稚園七夕集会

7月6日、町立学校仮設校舎体育館において、双葉南・北小学校とふたば幼稚園合同での七夕集会が開催されました。

七夕集会では、七夕クイズや各学年の代表による七夕様への願いごとの発表が行われました。子どもたちが願いを込めて書いた短冊は、折り紙で作った七夕の飾りと共に笹竹に結ばれ、校舎に飾られました。



*** あたたかいご支援をありがとうございます ***

ニュースキンジャパン株式会社（東京都港区）様主催による社会貢献活動の取り組みの一つ「キッツフォーキッズプロジェクト」から、セカンドハーベスト・ジャパン（東京都台東区）を通じて、町立小学校児童全員に文房具のご寄付をいただきました。



双葉ふれあいクラブからのお知らせ

◆◆ 令和4年度 双葉郡スポーツ交流大会結果 ◆◆

● バレーボール…優勝

● バスケットボール…準優勝

7月3日、富岡町と楡葉町を会場として令和4年度双葉郡スポーツ交流大会が開催されました。双葉郡スポーツ交流大会は新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となり、双葉町は野球、バレーボール、剣道、バスケットボールの4種目に出場しました。

富岡小中学校体育館で行われたバレーボール競技では、1回戦を楡葉町と、2回戦を広野町と戦い、いずれも快勝し、前回の開催に引き続き優勝を勝ち取りました。ならばスカイアリーナで行われたバスケットボール競技では、浪江町には64-60の僅差で、楡葉町には64-42と大差をつけて勝利しました。ゴールアベレージにより、2勝0敗と同じ結果を残した富岡町に続く準優勝となりました。



剣道競技は富岡町武道館で行われました。双葉町からは2人の選手が出場し、本田将吾さんが見事ベスト8の好成績を残しました。相双リテックならばスタジアムで行われた野球競技では、1回戦で浪江町と戦い、最後まで力を出し切りましたが惜しくも敗れてしまいました。

選手の皆さんは新型コロナウイルス感染症の影響や避難先からの参加のため練習に集まることも難しい中での大会出場でしたが、最後まで諦めない選手の皆さんの姿に声援とたくさんの拍手が送られました。



皆さんの応援よろしくお願いします!

第75回 福島県総合体育大会 県民スポーツ相双地域大会

日 付：令和4年9月4日(日)

場 所：南相馬市

開会式：午前8時30分～

スポーツアリーナそうま

《双葉町参加種目》

- ・ 壮年ソフトボール(北新田第一運動場)
- ・ 9人制バレーボール(鹿島体育館)



ふたばスポーツフェスティバル2022

開催のお知らせ

下記日程で開催します！ぜひご参加ください！

● 日 付 令和4年10月8日(土) ● 時 間 10:30～14:30

● 場 所 ▶東日本大震災・原子力災害伝承館 アーカイブ広場(芝生の広場です)
〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39



● 競技種目 5種類(玉入れ、宝拾い、ボウリング、キャッチングボールむかで、ボールとさんぽ)
お子さまから年配の方まで、どの世代の方にもご参加いただける競技です。

● 主 催 絆スポレクふたば実行委員会

● 申込期間 7月16日～8月15日 ※事前申し込みが必要です。

- ・QRコードをスマートフォンで読み取り、専用の申込フォームからお申し込みいただけます。
- ・広報紙に同封しておりますチラシ裏面の参加申込書にご記入いただき、生涯学習課に持参、もしくはFAX、メール、郵送でもお申し込み可能です。
- ・直接ご持参いただく場合は、土、日、祝日は受け付けておりません。
- ・町ホームページにも掲載しております。
- ・利用希望者が多いところからはバスを手配する予定です。(例：東京、加須、つくば等)



● その他

- ・動きやすい服装と、運動できるシューズをご持参ください。
- ・また、水分補給のための飲み物もご持参ください。
- ・昼食は、ご持参いただくか、隣接している双葉町産業交流センターの飲食店(4店舗ございます)をご利用ください。
- ・駐車場は、双葉町産業交流センターの駐車場をご利用ください。(当日は誘導係がご案内いたします)
- ・新型コロナウィルス感染拡大の防止に細心の注意を払い、開催予定です。
- ・お申し込みいただいた方へは体調確認シート記入のお願い等、事務局よりご連絡いたします。

【事務局】 教育委員会 生涯学習課 ☎ 0246-84-5210

住宅再建支援事業のお知らせ

町では、長期間にわたり維持管理ができず損壊等の被害が生じた町内の住宅の再建（修繕等）に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金（経費の1/2（上限100万円））を交付します。

対象となる住宅

次のいずれかに該当する住宅が対象です。

- ◆ 避難指示が解除された区域に所在する住宅
- ◆ 特定復興再生拠点区域に所在する住宅

※公営住宅、民間等の賃貸を目的とする住宅及び解体予定の住宅は対象外となります。

※上記区域以外の帰還困難区域に所在する住宅については対象外となります。

※補助金の交付は1世帯及び1住宅につき1回限りとなります。

対象となる方

次のすべてに該当する方が対象です。

- ◆ 東日本大震災発生時に双葉町に居住していた方で、居住していた住宅を再建し、再び居住しようとする方
- ◆ 町税等の滞納がない方
- ◆ 被災者生活再建支援金（国制度）の対象とならない方

※ご不明な場合には、お問い合わせください。

補助対象額

再建業者に依頼して行う住宅の再建工事に要する費用

（千円未満切り捨て、経費の1/2（上限100万円※））

※再建工事と同時に実施した新築、増築、改築、新規設備の購入等がある場合は、再建に係る分に限り補助対象となります。

※住宅清掃費補助金が既に交付されている場合には、補助対象額から当該補助金額を差し引いた金額を新たな上限額とします。

※業者に依頼して行う再建が対象であり、ご自身で再建した場合（DIY）等は対象外です。

その他

- 事前（再建工事の着手前）の申請及び再建完了後の実績報告が必要となります。
- 再建業者に申請等の手続きを委任することができます。
- 今年度の申請分は、令和5年3月17日（金）までに再建が完了するものが対象です。
- 補助金の交付は1世帯及び1住宅につき1回限りです。
- 令和2年3月4日以降に、既に再建を実施済みの場合でも補助の対象となる可能性がありますので、ご相談ください。

簡単★さっぱり 夏のおすすめメニュー



「栄養教室 in いわき」でのレシピ1品をご紹介します。
ぜひご家庭でも作ってみてください！



アジの南蛮漬け (1人あたり：164kcal/食塩相当量0.8g)

【材料】	【分量（2人分）】	
アジ	2尾分（三枚におろしたもの）	
ネギ	1/2本	
人参	30g	
ピーマン	1個	
{	ポン酢	大さじ1
	だし汁	大さじ1
	鷹の爪（輪切り）	少量
	片栗粉	適量
	油	大さじ1



～自分で漬け汁を作る場合の調味比率～

砂糖：1 醤油：1 酢：1 酒：1
水：4(目安：合わせた調味料と同量)

◎お酢を気持ち多めにすると、日持ちしやすいです！

作り方

- ① ネギ、人参、ピーマンを千切りにする。
- ② ポン酢、だし汁、鷹の爪をバットで混ぜておく。
- ③ アジに片栗粉をまぶし、フライパンで両面こんがりと揚げ焼きにする。
- ④ アジがこんがりと焼けたら、②のバットに熱いうちに入れ①も合わせる。
盛り付けて完成！

☆ 旬のカツオやカジキマグロなどでも美味しいです。

町栄養士おすすめ ☆ 電子レンジで夏野菜の副菜レシピ

オクラとなすのおひたし (1人あたり：28kcal/食塩相当量1.1g)

【材料】	【分量(2人分)】
なす	1本
おくら	4本
めんつゆ(2倍濃縮)	大さじ1.5
おろししょうが	2g(チューブだと約2～3cm)
かつお節・大葉(千切り)	お好み



※写真はかつお節がかかっています

作り方

- ① なすはへたを切り3等分に切ってから、4等分に切る。おくらは斜め半分に切る。
 - ② ボウルに①を入れ、ふんわりとラップをして電子レンジ(600W)で3分加熱する。
 - ③ ボウルにめんつゆとしょうがを加えて、和える。
- ※ お好みで、かつお節や大葉をかけて完成！

8月は食品衛生月間です。夏は食中毒にご用心！

食中毒は毎日食べている家庭の食事でも発生します。夏は気温が高く、細菌が増えやすくなるため、食中毒が起きやすくなります。食中毒の中には、重症化して命に関わるものもありますので、食中毒予防の3原則を実行し、夏を元気に乗り切りましょう。

食中毒予防の3原則

- ・ **菌をつけない**：こまめな手洗い。器具を清潔に保つ。
- ・ **菌をふやさない**：低温保存。調理したらすぐに食べる。
- ・ **菌をやっつける**：中心部まで十分に加熱する。



【問い合わせ先】 福島県相双保健所 食品衛生チーム ☎ 0244-26-1358

双葉町社会福祉協議会

～ 8月 健康運動教室のお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①第1、3水曜日 ②第1、3木曜日 ③第2水曜日、 第4木曜日 のいずれか	13:30～15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター 2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	8月16日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日	① 9:30～11:00 ② 13:30～15:00 のどちらか	南相馬出張所 ☎ 080-5730-1166

原子力規制委員会からのお知らせ

行政職員 実務経験者募集

受付期間 7月1日～9月30日 **募集職種** 原子力検査官 原子力防災専門官 他

求める人材

- ・ 原子力の運転、保全、検査、設計等に専門性がある方
- ・ 放射性廃棄物管理・処分に専門性がある方
- ・ 火災、防災、放射線等に専門性がある方 他

詳しくは原子力規制委員会
ホームページへ



原子力規制庁人事課採用担当
☎ 03-3581-3352 (代表)

一緒に創ろう・・・ふたばの明日！

「ふたばワールド2022 in 双葉」の開催について

双葉地方住民の皆さまの交流機会を創出するイベントとして、今年は3年ぶりに下記日程でふたばワールドの開催を予定しております。

日時 令和4年9月23日（金・祝）
10:00～15:00

会場 双葉町産業交流センター付近
※イベント詳細は、別添チラシをご参照ください。

参加ご希望の方は、『事前申し込み』が必要となりますので、<http://www.futabaworld2022.jp/>よりお申し込みください。

なお、インターネット等がご利用できない方向けに、広報ふたば9月号に申し込みハガキ付きのチラシを同封する予定です。

新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。

【問い合わせ先】 福島テレビ（運営事務局：(株)サードステージ） ☎ 022-796-3039

消防署からのお知らせ

ハチ刺されにご注意！

夏から秋に向けて、スズメバチやアシナガバチなどの活動が活発になり、蜂刺されの事故が多くなります。今回を機に、予防対策と刺された時の処置方法について確認していきましょう！

予防対策

● 明るい色の服装を着る

ハチは黒いものに対して攻撃的になるので、黒い服装を避け、帽子をかぶるなどして頭髪を隠す。

● においに注意

化粧品や香水などのにおいにもハチは敏感に反応するので使用は控える。

● 刺激しない

手で振り払うなどのすばやい動きはハチの攻撃行動を増す恐れがあります。

処置
刺された時の

● その場から離れる

● 傷口を流水でよく洗い流し、冷やすこと。

● 傷口を圧迫し毒液を絞り出すこと。

● 抗ヒスタミン軟膏、ステロイド軟膏を塗る。

● 処置後、速やかに医療機関に受診すること。



意識がもうろうとしたり、呼吸困難などの症状があれば緊急を要するため、すぐに119番通報しましょう！



火事と救急は119番 <消防署連絡先>

・浪江消防署 ☎ 0240-34-4111
・富岡消防署 ☎ 0240-22-2119

宝くじ
公式サイト

いつでも、どこでも。宝くじをもっと手軽に、もっと便利に！

24時間
いつでも
ネット購入

宝くじ LOTO

NUMBERS

BINGO5

セカンドチャンス

QuickOne

クイックワン
いつでも買える。
秒で結果でる。24時間買えて、
ポイントもたまる！
今すぐ会員登録

お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)





厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】ふくしまで働こう@オンライン企業説明会

ふくしまでお仕事を探している人集合！

福島県の企業30社程度が集結！オンラインによる企業説明会を開催します。

仕事の内容、職場環境など求人票ではわからないことが聞ける！

福島労働局によるお仕事相談ルーム、自治体による移住や就職の補助金等の支援制度説明ルームなど、内容盛りだくさん！

情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか？

Zoom初心者も、スマホやパソコンで、簡単に参加可能！

●日 時… 8月26日（金）13:30～15:30 途中参加OK！

●参加方法… オンライン（Zoom使用）

●内 容… 企業説明会（30社程度）、お仕事相談、移住や就職支援のルームなど

●締 切… 8月21日（日）

電話またはホームページから申し込みできます。 ※詳細はホームページをご覧ください。



【企業申込型】雇用確保セミナー

◎業種別に雇用確保に役立つセミナーを開催！

採用力UP！採用活動の悩みを解決します。事例をもとに業種ごとの課題を知り、より自社の企業風土に適した採用活動を進めましょう。人事、総務、採用担当者の方、必見です。

●日 時… ①サービス・卸、小売業 8月18日（木）14:00～16:00

②警備業 9月 1日（木）10:00～12:00

③建設業 9月 1日（木）14:00～16:00

④医療・福祉業 9月21日（水）14:00～16:00

⑤製造業 10月13日（木）14:00～16:00

●開催方法… オンライン（Zoom使用）

●定 員… 各50名（1事業所2名まで）

●締 切… ①8月4日（木） ②8月22日（月） ③8月22日（月）

④9月12日（月） ⑤10月3日（月）

※受講料・テキスト代無料 ※詳細は、お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】 ホームページ で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口（福島市中町4番20号 みんなのビル202号）

☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125



南部衛生センター焼却施設について

楢葉町の南部衛生センターにある焼却施設は、老朽化による建替え工事を令和3年5月から実施しております。

【問い合わせ先】 双葉地方広域市町村圏組合

環境衛生課 …………… ☎ 0240-22-3333

北部衛生センター …☎ 0240-35-5454

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

●建物解体申請の締め切りについて

双葉町の特定復興再生拠点区域の建物解体の申請を以下の期間まで受け付けています。申請書類をそろえるのに時間を要する場合があるため、解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にお早めにご相談下さい。

【解体申請受付期間】

特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された日から概ね1年後となります。具体的な申請受け付けの締切日は、改めてお知らせします。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（環境省業務受託業者）

＜場 所＞ 双葉町役場いわき事務所1階（いわき市東田町2丁目19-4）
 ＜受付時間＞ 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）
 ＜連絡先＞ ☎ 0120-773-275（フリーダイヤル）

片づけごみについて

●片づけごみの個別回収について

双葉町の特定復興再生拠点区域内における家屋について、家屋の片づけによって生じた片づけごみの回収を行っております。

【片づけごみ回収申込先】 双葉町片づけごみサポートセンター

＜受付時間＞ 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝日及び年末年始を除く）
 （※FAXによる受付は24時間行っております。）
 ＜連絡先＞ 株式会社 新成建設（令和4年度環境省業務受託業者）
 ☎ 0120-115-261（フリーダイヤル） FAX: 0120-115-271

※環境省によるごみ回収は避難指示解除後1年間となります。環境省による回収をご希望の方は、お早めに片づけごみサポートセンターへお申し込みください。

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇中間貯蔵施設見学会について

- ▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。8月は、5日（金）、27日（土）を予定しています。
- 見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎ 0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇輸送について

- 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
- ・令和4年度は、48,043 m³搬入しています。（2015年からの累計は3,856,283 m³）※6月30日現在
- ▶ 8月11日（木）～8月16日（火）は輸送を休止いたします。

◇放射線モニタリングについて

- ▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

浜野行政区からのお知らせ

新型コロナ対策を行い、浜野地区の皆さまのご協力を得ながら浜野地区総会・交流会を、下記のとおり開催しますのでご参加ください。

◇ 日 時： 9月18日(日)～9月19日(月)

- 総 会 …… 午後1時から
- 交流会 …… 午後6時から

◇ 場 所： いわき湯本温泉 吹の湯
いわき市常磐湯本町吹谷48
☎ 0246-42-2158

◇ 会 費： 10,000円(泊)

交流会(食事)参加 5,000円

◇ 申込締切： 9月4日(日)

【申し込み、問い合わせ先】

高倉 伊助 ☎ 090-3641-8798

菅本 武恒 ☎ 080-5573-8645

羽黒山：三神合祭殿参拝

このほど、山形県鶴岡市の羽黒山の三神合祭殿に参拝しました。

梅雨期間と思えない、素晴らしい好天に恵まれ、とても爽やかな時間でした。

羽黒山入り口、山門をくぐり参道に入ると立ち並ぶのは、樹齢350年～500年を超す老杉の並木。その中へ歩みを進めると清々しさに満たされました。

羽黒山頂上まで参道は、1.7kmの石段で、新たに生まれ出るための産道と伝えられた山道です。

石段は、2,446段、登り始めて間もなく、国宝五重の塔が凜として老杉の間に立っていました。

それから胸突き八丁、息切れ激しくなってきたところに、休憩茶屋があり、広い庄内平野を眺めながら涼をとる、一気に頂上まで登り、したたり落ちる汗をぬぐいながら参拝しました。

心身をいやす神秘的なエネルギーに満ちたパワースポットとして人気があるらしく、多くの老若男女が訪れていました。

帰路は、天童温泉で一泊、心身ともに癒されました。

令和4年6月吉日

大橋 庸一(細谷)



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部をご紹介します

【文芸】

俳句・風鈴の音に
あやされて
児のひるね

・門火焚き
ご先祖迎え
盆座敷
コロナ禍

川柳・幸せも
苦勞も背負う
靴の底

里謡・使い
しばし足止め
郭公鳴いて
故郷に
今泉 禮子(長塚二)



広報ふたば令和4年7月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします

P27：双葉町民の避難状況(令和4年5月31日現在)

誤
・福島県内に避難されている方 3,641人
・福島県外に避難されている方 1,940人



正
・福島県内に避難されている方 3,954人
・福島県外に避難されている方 2,726人

写真集と手紙が届きました

広報ふたば4月号 双葉の風だより「ウクライナの首都キエフにあるチェルノブイリ・ミュージアムをみて」の続きです。

立命館大学の村本邦子先生から手紙と写真集（ウクライナの記憶2019年 キエフ・チェルノブイリ・オデッサ）が届きました。

なかなか収束しないコロナに相次ぐ地震、ウクライナでの爆撃が続く中、チェルノブイリ・ミュージアムは、もしかすると二度と同じ姿で見ることができないかもしれない、一日も早く終わってほしいと思い続けています。チェルノブイリ・ミュージアムでの福島での展示写真をお送りしようと写真を整理しながら、美しいキエフの街や教会・チェルノブイリツアー・空爆を受けたと報じられているバビ・ヤールの祈念公園（ナ

チスドイツによる大量虐殺が行われたところ）オデッサの写真も入れようとアルバムにしました。ミュージアムの写真なので、あまりきれいに撮れていませんが、雰囲気はわかると思います。先日、ウクライナに入った金平茂紀さん（ジャーナリスト）からですが、ウクライナでもベラルーシでも、人々はみんな日本のことをよく知っていて、チェルノブイリで苦難を経験しただけに、広島・長崎・福島に強い思いを抱えていることがわかり驚いたとおっしゃっていました。人類普遍的なテーマだと捉えているからこそ、このように福島にも心を寄せてくれているのだということを、あらためて感じました。

村本先生には、掲載することの了承を得ています。

目黒 とみ子（山田）

チェルノブイリ・ミュージアムの中に入り、福島第一原発事故の展示4月号再掲です。地震、津波被害の新聞記事、双葉町の「原子力明るい未来のエネルギー」の看板や白い防護服を着た作業員、避難家族と被災した自宅や仮設住宅の写真、原発反対デモの写真と関連の新聞記事、原発サイト、甲状腺検査を受ける子ども、積み上げられた除染土、柿や桃など福島の農産物を含む風景、津波後の光景と鯉のぼりの写真などが展示されていた。液晶画面には福島第一原発事故の映像が映し出されており、その両脇に、ウクライナ語と日本語で書かれたメッセージが掲示されていた。

桜の枝 煙の美女 この枝に歩み寄って 優しく抱きしめる。チェルノブイリから 宜しくと伝えておく。桜が息で返事をする。全世界が悲しみに暮れ、皆が心配になり 祈りが天国まで響く。その中に私たちの声：私達はあなたと共にいる。桜ー私たちの姉妹。傷が癒されるように 禱りを捧げている。諦めないで！あなたの兄弟 キエフの栗の木より。

壁には「福島への祈り」と書かれた小さなチラシが貼ってあった。



人のうごき6月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
房州 那祈	6月20日	辰也・美奈	三字

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
井戸川紀美子	81	6月10日	下条
荒木 信治	92	6月14日	浜野

双葉町民の避難状況

（令和4年6月30日現在）

- ・福島県内に避難されている方 3,955人
- ・福島県外に避難されている方 2,724人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第108号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202



ワイナリーの醸造室にて（背後はワイン醸造用タンク）

よこやま やすひと
横山 泰仁さん
(長塚一)

株式会社 吾妻山麓醸造所
代表取締役



●避難先●
福島県福島市

故郷の医療環境向上を目指して

昭和48年、JA福島厚生連に入職し、地元・双葉町をはじめ県内各厚生病院での勤務を経て、震災当時、双葉厚生病院と県立大野病院を統合した「ふたば中央厚生病院」の誕生に向けたプロジェクトの責任者として携わっていました。

故郷・双葉郡は、原子力発電所の立地地域としてインフラ整備が進められていた一方、医療体制は課題を抱えていました。そこで、官民、市町村の枠組みを越え、高齢化やがん治療にも対応した環境を目指していましたが、平成23年4月の新体制発足を目前にして、原発事故でプロジェクトは道半ばとなってしまいました。

無我夢中の時間を経て

職員一丸となり、地震・津波による負傷者の救護から始まり、原発の水素爆発による放射性物質による汚染が続く中、バスやヘリコプターによる入院患者の移送など、自らの被ばくなど考える余裕すらありませんでした。

避難後は厚生連本所で原発事故賠償などの業務にあたり、平成25年春、定年退職で仕事を離れましたが、福島県内では風評被害など、それまで当たり前のように享受してきた豊かな恵みが危機に瀕している様子が心が痛み、少しでも復興に繋がるお手伝いがしたいと思うようになりました。

支援への感謝と復興への想い

震災で傷ついた故郷ふくしまの復興に携

わってくださった方々への感謝をかたちにしたいとの想いが強くなっていました。

以前からワインに興味があり「ワインは人を笑顔にする」と感じていたことから、退職後県内外のワイナリーへ足を運び、栽培や醸造を学び、ワインを通じて「人々が集う癒しとくつろぎの空間をつくりたい」と考えるようになりました。福島市内に畑を借り苗木の植栽から始まり2019年8月「ワイナリー吾妻山麓」を開所しました。

現在、県外産（長野県や山形県）のぶどうや福島市産のりんごからワインとシードルを醸造販売しております。来年度はボランティアの方々と植栽した6千本の自社ぶどうで醸造するふくしま産ワインが出来上がる予定です。



お気軽にご連絡ください

ワイナリー 吾妻山麓

〒960-2151 福島市桜本字梨子沢4-2

電話 024(563)5057

FAX 024(563)5058

[URL] <https://azumasanroku-winery.co.jp>

今月のベストスマイル



6月14日、町立学校仮設校舎にて、文房具等の寄付を受け取った皆さんの笑顔です。

編集後記

例年になく早い梅雨明けを迎え、6月末から全国的に猛暑日が続きました。今年も紫陽花を見る間もなく、一気に夏を迎えたかのようです。今月の表紙は、7月1日にいわき・まごころ双葉会の皆さんがJR双葉駅に展示した七夕飾りの一場面と、町立小学校に飾られた笹竹の七夕飾りです。いわき・まごころ双葉会の七夕飾りは、すべて会の皆さんによる手作りです。色鮮やかな吹き流しが海からの風になびく様子は、暑さを吹き飛ばし、JR双葉駅に彩りを添えてくれました。町立学校の七夕飾りには、児童たちが一生懸命書いた短冊が結ばれていました。家族の健康を願う子、将来の夢を書いた子どもたちもたちの素直な願いごとが可愛らしく、「願いがかないますように」と短冊を見せていただきました。

梅雨明けが早かったことから今年の七夕は5年ぶりに快晴となり、星空だけでなく、街灯が少ない場所では天の川まで見えたそうです。旧暦の七夕は8月です。いわき・まごころ双葉会では、8月6日、7日にもいわき市平で七夕飾りを展示します。皆さんにもぜひ足を運んでご覧いただきたいです。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○コミュニティセンター連絡所（午前9時～午後4時）
〒979-1471
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西39-22

☎ 0240-23-0051
FAX 0240-23-0052

○南相馬連絡所（午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分）
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2

☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277

○つくば連絡所（月・火・水 午前9時～午後5時）
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟

☎/FAX 029-854-7511

○双葉町公式ホームページ
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○双葉町産業交流センター
公式ホームページ
<https://www.f-bicc.jp/>



○双葉町公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<https://futabanowa.wordpress.com/>